

地上設置式横型バルク貯槽等の発生能力 解説

本解説では、地上設置式バルク貯槽等の発生能力に関する推算方法、設計上及び運用上重要と考えられる次の項目について補足説明する。

- 本基準におけるバルク貯槽等の発生能力推算結果を既存データと比較し、本基準で採用した推算方法を評価すること。
- 発生能力における気象条件等に起因する外乱要因の影響を評価すること。
……発生能力における伝熱発生速度の割合を評価すること。
- バルク貯槽等に繰り返し充填すると液相中の重質分（ブタン分）濃度が高くなるが、いずれ液相組成はある値に収斂するので、その収斂値をモデル計算から探ること。
- 長時間連続消費（自然気化）した場合、次の消費開始までに液温が外気温まで回復しなければ継続的な消費に支障が生じる可能性があるため、自然気化消費における液温回復時間をモデル計算から探ること。
- 地上設置式縦型バルク貯槽の発生能力を計算し、横型バルク貯槽の発生能力と比較すること。